



第48号

令和3年4月1日

発行責任者

千歳市町内会連合会

会長 沼田常好

千歳市幸町4丁目30
中心街コミセン内(千歳タウンプラザ3F)
TEL.0123-49-7100

印刷：千歳印刷株式会社

令和2年度 市町連要望

令和2年度市町連要望については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各町内会・自治会からの要望事項や最終的な市町連要望の整理について、主に理事会メンバーにおいて感染予防対策を実施しながら検討し、取りまとめを行いました。

要望書は10月16日に山口市長に提出し、11月24日に回答を受けています。

各町内会・自治会からの要望事項については、令和2年7月に取りまとめを依頼し、最終的に28団体から6分野59項目の要望が寄せられました。

①公園等の環境整備や立木の伐採等12項目、②学校、公園、コミュニティセンター等の施設整備12項目、③道路の補修・整備等11項目、④防災に関する資材の充実、訓練の実施、町内会館の運用等8項目、⑤道路標識の設置、交通安全対策6項目、⑥活性化のための各種補助制度の要望等10項目。



これらの要望事項については、9月4日に中心街コミュニティセンターにおいて要望事項会議(理事会)を開催し、千歳市の担当職員から対応などについて説明を受けたのち、9月28日付けで文書により正式に回答があり、要望のあった町内会・自治会に通知したところで

市町連としての要望については、各町内会・自治会からの要望事項を踏まえ、市全体の課題と考えられるものや昨年度までの要望で継続して要望する必要があるものについて次のように取りまとめを行い、10月16日に山口市長に要望書を提出しました。



- 1 生活環境の整備について 不適切なゴミ排出等に対する対応策
- 2 施設整備について コミュニティセンターの新設、公園の男女別トイレの整備等
- 3 道路整備について 道路補修等の年次計画と基準の明示
- 4 防災・防犯について 町内会館の避難所としての位置付けと災害時の連携体制の構築
- 5 交通安全対策について 横断歩道、交通標識等の交通規制の継続要望、

通学路周辺でのハンプ(減速させる道路の隆起)の設置

- 6 その他 助成制度等の活性化支援事業の継続、コミセンにおけるパソコンやワイファイの設置



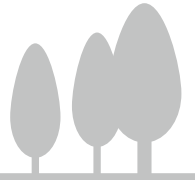
市町連要望の回答については、11月24日に山口市長はじめ市職員の皆様にご出席をいただき回答説明会(理事会)を開催しました(資料は各町内会・自治会に送付済み)。

ゴミ排出等に関しては市民協働によるゴミステーションの適正な管理に取り組んでいくこと、公園トイレについては大規模な公園を除いて新たに男女別トイレを設置することは難しいこと、道路整備については3年ごとの路面調査により計画的に整備し緊急な場合は補修を行うこと、町内会で町内会館を一時的な避難場所と位置付ける場合は情報共有していくこと、交通規制については関係官庁に要望を継続し、通学路周辺の交通安全対策については検討していくこと、町内会活性化についてはデジタル化社会の進展などを踏まえ必要な支援に努めていくことなどが説明されました。

今後、回答内容の経過について、実施状況等の把握に努めてまいります。

千歳市町内会活性化支援事業

第2回及び第3回 ちとせ町内会活性化セミナーの開催



■第2回セミナー

令和2年8月22日 花園コミセン
～多様な主体がつながる地域コミュニティに向けて～

- 話題提供 (株)KITABA (活性化支援事業受託者) 会長・酒本講師から地域コミュニティの価値を高める町内会組織、町内会の現状とWithコロナ・Afterコロナ、運営のヒントについて講話



- モデル町内会からの話題提供
 - ・白樺町内会 橋本副会長
 - ・富丘西町内会 中村会長
- ちとせの輪メンバーからの話題提供
 - ・坪田氏 (イロイロリビングの運営)
 - ・田村氏 (喫茶公民館の開催)
 - ・米澤氏 (町内会事業の外部委託)
 - ・菅原氏 (心理学講座の開催)
 - ・中塚氏 (ゴミ拾い大会の開催)
- パネルディスカッション
町内会・ちとせの輪に関する意見交換

■第3回セミナー

令和3年2月6日 中心街コミセン
～千歳らしいこれからの地域コミュニティのあり方～

- 話題提供 (株)KITABA 会長・酒本講師から活性化支援事業3か年の振り返り、今後の町内会活性化に向けて、Withコロナの町内会活動について講話
- パネルディスカッション
千歳らしいこれからの地域コミュニティのあり方についてパネリストと参加者が意見交換
 - ・市町連 沼田会長
 - ・ちとせの輪 坪田氏
 - ・ちとせの輪 菅原氏

『ちとせの輪』をご紹介します。

『ちとせの輪』は、若い世代が集まって開催したワークショップ(活性化支援事業)を契機として、地域の枠にとらわれずフェイスブック(インターネットの交流サイト)で気軽に繋がりながら今後も「地域コミュニティ」について一緒に考えていこうと結成されました。

メンバーはそれぞれの職業や趣味、特技を活かして地域に対して自分たちが「できること」をオンライン会議も使いながら話し合っています。メンバーの「できること」と町内会・自治会が「してほしいこと」との共通点を探し、地域の新しい活動に結びつけます。また、新しい活動を創るだけではな

く、若い世代が持っているアイデアやノウハウ、ネットワークを町内会・自治会が吸収して独自に活動を継続し、活性化を図っていくことも期待されています。

『ちとせの輪』メンバーからの提案例

- 「イロイロリビング(幸町1丁目ニューサンロード)」の町内会イベント等での利用、
- 心と健康をテーマとした「日常に役立つ心理学講座」の開催、
- 楽しみながら地域の美化に取り組む「町内会×ゴミ拾い大会×マルシェ」の開催、
- 「晴レルモキッチン」による清掃活動や高齢者へのおにぎり宅配などの町内会業務の受託、
- 各町内会館を行脚する「喫茶公民館」の開催による交流促進

例えば「町内会×ゴミ拾い大会×マルシェ」って？

仮装しながら楽しくゴミ拾い、資源回収ブースで環境意識を高める、地域の飲食店が出店(マルシェ)して「エコチケット」を配るなどの取組で楽しみながら環境美化と活性化を目指します。



詳細は『ちとせの輪』ホームページ (<https://wa.chitose-chooren.jp/>) をご覧ください。



市町連事務局にもお問い合わせください。

町内会・自治会

活性化支援事業モデル町内会の活動

TOPICS

白樺町内会～情報化の取組



白樺町内会のモデル町内会としてのテーマについては、若い世代の町内会への参加やコロナ禍での感染防止の観点から、ICT（情報通信技術）導入による活性化を進めることとしました。

電子回覧板の取組は、紙文書で行う回覧板をホームページの会員専用ページに掲載し、併せてラインの公式アカウント（スマホ等のお知らせ機能）から掲載内容を通知するものです。紙文書の回覧板も同時に行った試験調査期間を経て、



今後は、ホームページによる回覧板を主とし、紙文書は必要な方に限り回覧ではなく戸別に配布する方針としています。

また、インターネットを介したオンライン会議（遠隔会議）について、役員全員が集まって研修会を開催しました。オンライン会議の方法には様々なものがありますが、広く普及している「ZOOM（ズーム）」を活用することとし、各自のパソコンやスマホへの「ZOOM」の設定、会長（司会者）による会議への招待（会議IDの配布）、会議への参加方法などについて実践し、模擬会議を行ったものです。パソコン等の操作については、繰り返し手順を確認することにより習熟が図られました。

参加者の居場所に関わらず会議ができることのメリットに加え、合同作業を伴わない会議や冬場の会議においては特に負担軽減につながることから、

以後の役員会において積極的に導入していく予定としています。また、令和3年度からは、女性部と青少年部を合わせて「未来倶楽部（仮称）」とし、世代を越えた交流を図るとともに、ホームページ回覧板発信等の役割を担ってさらに情報化を進めることとしています。

富丘西町内会～若い世代と交流



富丘西町内会のモデル町内会としての活動を検討する中で、現状については、町内会への加入率が97パーセントと非常に高く、お楽しみ旅行会への参加人数も多いことなど、会員同士のつながりが深く、お互いのコミュニケーションがよく図られているという特徴があることが分かりました。また、町内会の年齢構成については高齢化の状況は他の町内会と同様となっていますが、一方で徐々にではありますが若い世代（子育て世代）が移り住んでいる様子も見られています。

これまでの町内会の活動では、地域の交流は深まっているものの、新しく移り住んできた若い世代が既存の活動に参加している状況にはないことも分かってきました。町内会に加入していない世帯も含めて若い世代が町内会の存在をどのように感じているかを考えることは、活性化の第一歩であり、交流を始める大きな推進力となります。このような考えから富丘西町内会独自の若い世代にスポットをあてた交流の発想が生まれました。「ちとせの輪」のメンバーとの意見交換では、町内会に新しく入られた世帯をお迎えし町内

会に親んでもらうためには、その方たちの「歓迎会」として開催することも検討してはどうかとのアドバイスもいただきました。

交流会のイメージについては、若い世代に人気のあるカフェ形式が想定されています。落ち着いた雰囲気でお茶やお菓子をいただきながら、町内会会員で特色のある活動をしている方に親子で参加できる体験教室の講師となっていただくことや、「ちとせの輪」のメンバーが得意とする若い世代が興味を持ち交流を深める講座を開催することを検討しています。このほか町内会の役割を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション資料の作成などについてモデル町内会への支援として実施する予定です。

富丘西町内会では、このような活動を進めることにより、若い世代が町内会への関心を深めていただけるよう段階的に環境を整えていくこととしています。

コラム

コミセン

昭和49年1月、北新地区に千歳市で初めてコミュニティセンターが完成しました。これに先立ち、昭和47年11月に北新コミュニティ協議会が設立されています。その経緯は、国民生活審議会からの提言を踏まえ「現代文明社会における人間性回復」を目指し、昭和46年に国のコミュニティ政策が始動したことによるものです。

千歳市では総合計画にコミュニティ計画を位置づけ、昭和47年6月に北新地区は本道で唯一の都市型モデルとして指定を受けました。資料には「役員一同、生みの苦勞を一生懸命になって克服した」との記述がみられます。そして40有余年。現在、11か所のコミュニティセンターを拠点として各コミュニティ協議会・町内会連合会が盛んに活動を行うまでに発展しています。

あなたの町内会・自治会のトピックスをお寄せください!!

市町連では各町内会・自治会の独自の取組を募集（400字・写真2枚程度）しています。交流事業や防災活動、高齢者の見守り、回覧板の回覧手法、ITの活用事例など、市町連だよりやホームページでも紹介していきます。

連絡先

市町連事務局 電話 0123-49-7100 FAX 0123-49-7300

Eメール：shicyoren@city.chitose.hokkaido.jp

事務局通信 再確認しましょう!

千歳市地域活動ガイドライン

千歳市では、令和2年10月にコロナ禍における町内会活動等の指針となる千歳市地域活動ガイドラインを公表し、各町内会、自治会にお送りしています。このガイドラインは国の「新しい生活様式」と北海道の「新北海道スタイル」の取組を基本に地域活動における参考事例を示したものです。いまだに新型コロナウイルス感染症への対応が必要とされる中、地域活動の注意点について再確認してみました。



(1) 基本的な感染症対策の実施

まず、体調不良の方、体調に不安の

ある方などは、活動に参加しないようにしましょう。活動へ参加する際は、手洗いや消毒とマスクの着用はもとより多数の人が触れる箇所（ドアノブ、机、マイクなど）の消毒や活動時間を短縮する工夫を行います。そして改めて「密集」「密接」「密閉」しないの「3密の回避」を徹底します。

(2) 地域活動の留意点と特に注意する活動

地域活動を行う上での留意点として「新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト」の活用と「参加者名簿」を作成、保管（1か月程度）することが示されています。さらに、特に注意して十分に感染症対策をとる必要があり、また、感染症対策が十分に実施できない場合には、中止、延期等の検討をお願いするものとして、次のような事例があげられています。

- ・調理、会食を伴う活動（例：夏祭り、新年会など）
- ・密接が避けられない活動（例：囲碁、将棋、マージャンなど）
- ・専ら運動することを目的とした活動（例：踊り、ダンス、体操、運動会など）
- ・密閉した部屋で、大きな声を出すことや歌を歌う活動（例：合唱、カラオケ、詩吟、民謡など）



コロナ禍を想定した 千歳市機能別 防災訓練

令和2年10月21日(水)、千歳市防災学習交流施設(そなえーる)において新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練が実施されました。



段ボールベッドの組立



受付での健康チェック



居住スペースの設置



健康チェック後の避難者案内

ホームページについて

市町連では、ホームページを開発しています。各町内会(みどり台南、春日町3丁目、文京1丁目、末広中区、白樺、住吉北、富丘2丁目)もホームページを開発しており、市町連のホームページとリンクしています。活動の参考に是非ご覧ください。
URL : <https://chitose-choren.jp/>



市町連ライン公式アカウント

市町連ホームページの掲載情報や災害時の緊急情報等をお知らせします。是非、友だち登録をお願いします。



編集後記

「三寒四温」はこの時期の北海道の風景ですね、この長いコロナ禍でもいつもと同じ景色が迎えられて少し安堵します。

コロナ対策の切り札ワクチンの接種も始まり感染抑止と副反応の不安と複雑な思いがしますが、まずは私も含め高齢の皆さんはかかりつけ医にしっかり相談しましょう(笑)。

町内会活動も新しい年度を迎え事業計画、役員改選など苦勞されていると思います。先の見えない中での町内会活動になりますが、会員皆さんの安全を最優先に無理のない計画、無理のない行動が一番です。「新しい生活様式」を身に付け一日も早く町内会活動が回復することを願っています。

